



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

川西赤十字病院ニュース

〒384-2292 (病院個別番号) 長野県佐久市望月318
TEL.0267-53-3011(代) FAX.0267-53-5901
<http://kawanishi.jrc.or.jp>
kawanishi-med-jrc@shore.ocn.ne.jp

■ 発行者：川西赤十字病院
■ 院長：大和眞史
■ 印刷所：立科印刷

お知らせ

土曜日の外来診療の休診について

現在、第1・3・5土曜日午前の外来診療を実施しておりますが、10月から、土曜日の外来診療は、眼科外来(第1・第3)を残し、その他の外来はすべて休診とさせていただきますこととなりました。

患者さまや地域の皆さまには大変ご不便をお掛けすることとなりますが、これは国の推進している「働き方改革」の一環であり、職員が働きやすい職場づくりを行う事で、患者さまにより良い医療が提供できるよう努力してまいります。

これからも診療体制・病院機能のより一層の充実に努め、地域の皆さまに信頼される病院づくりを目指してまいります。

令和元年10月からの土曜日の診療体制

| 内科 | 外科 | 整形外科 | 眼科 |
|----|----|------|-----------------------|
| 休診 | 休診 | 休診 | 診療 第1・第3 (第5休診) |



川西赤十字病院
院長 大和 眞史

支部合同災害救護研修会に参加して

事務部 総務課
主事 梅澤 達也

日本赤十字社の災害救護活動は、地震・台風・豪雨などの災害が発生したとき、いち早く医療救護活動を行うための重要な人道的任務です。日本各地にある日本赤十字社の支部および病院に医療救護班が編成されており、全国で約500班（7,000人）が、いつでもどこで災害が発生しても対応できるよう常時出動できる態勢を整えています。また、全国各地に日本赤十字社独自の救援物資を備蓄しており、大規模災害が発生した場合は、被災者のニーズに応じて速やかに救援物資を配分できるよう整備されています。

日本赤十字社長野県支部では、災害救護活動を迅速かつ適切に行えるよう、毎年、県内各病院の医療救護班および日赤奉仕団並びに消防署・市町村等と災害救護訓練を実施しています。本年は、災害救護の役割や活動内容の理解を深めるため、医療救護班の役割・活動内容、情報ツール、dERU（仮設診療所）設置等、災害救護の知識と技術の向上を目的に、日赤長野県支部で研修方式により開催されました。

通常、医療救護班は、医師・看護師長・看護師・主事（事務員）、場合によっては、薬剤師等のコメディカル、様々な職種が集まりひとつの班が編成されます。災害現場では、各職種がそれぞれ違った役割について、お互いに連携をとりながら救護活動にあたります。通常の訓練では、班ごとに活動を行うこととなりますが、当研修では各班の職種ごとに集まり、座学や訓練を通じて、自らの役割について理解を深めました。研修の最後には、県内各病院から参加した計6班が、2班ずつに分かれ災害救護シミュレーションを実施しました。当院救護班は長野赤十字病院救護班および安曇野赤十字病院救護班の医師と共同してシミュレーションにあたりました。即席のチームでしたが、研修の内容を生かしてスムーズに活動を行うことができました。

災害は起こらないに越したことはありませんが、いつでもどこで発生するか分かりません。今後も災害救護の技術と知識を深め、災害時は、一人でも多くの被災者を助けることができるよう、努力を怠らないようにしたいと思います。

なお、日本赤十字社の災害救護活動は皆さまの会費・寄付により支えられています。ご支援いただいている皆さまにつきましては、日本赤十字社の人道活動にご協力頂き誠にありがとうございます。今後ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



エアテント内での救護シミュレーション訓練



県内医療救護班の全体研修の様子



救急法 ～熱中症について～



高温、多湿、風が弱い、輻射熱（地面や壁などから放射により伝わる熱）があるなどの環境では、体から外気への熱放散が減少し、汗の蒸発も不十分となり、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れるなど体温や体液の調節機能が破綻します。このことが原因で起きる障害を熱中症と言います。死に至る危険性のある病態ですが、予防の方法を知っていれば防ぐことができます。

熱中症の症状

「暑熱環境にさらされた」という条件が明らかで、熱痙攣、熱失神、または熱疲労の症状があれば熱中症の疑いがあります。熱痙攣は全身痙攣ではなく「筋肉のこむらがえり」、熱失神は「立ちくらみ」です。熱疲労は、全身の倦怠感や脱力、頭痛、吐き気、嘔吐、下痢などがみられる状態です。また、気温が低く、湿度が高い場合は、体温が低くても同様の症状が見られる場合があります。

手当

- できるだけ早く風通しのよい日陰や、冷房の効いている室内などに避難させます。
- 本人が楽な体位にしますが、顔面が蒼白で脈が弱い場合は、足を高くした体位にします。
- 衣服を脱がせて、体から熱の放散を助けます。
- 意識があり、吐き気や嘔吐などが無ければ、水分補給をさせます。スポーツ飲料が、薄い食塩水などを飲ませます。
- 水分が補給できない、症状に改善が見られない、様子がおかしい、全身痙攣があるなど、手当の判断に迷う場合は、ためらわずに救急隊を要請します。

事故防止

熱中症は、生命にかかわる病気ですが、予防策を知っていれば防ぐことができます。熱中症を防ぐためには、日常生活における工夫が必要です。特に高齢者や子どもなどは熱中症に陥りやすいので注意が必要です。

- 屋外では日陰を選び、室内では扇風機や空調（エアコン）などを使用します。
- 塗れたタオルなどでこまめに汗を拭き、吸汗、速乾素材や通気性のある衣服、帽子を着用するなど工夫し、暑さを回避します。
- 喉が渴いたときはもちろん、のどが渴く前、あるいは暑い所に出る前からこまめに水分を補給する事が必要です。（アルコールは体内の水分を排出するので、特に注意が必要です。）
- 急に暑くなる日に屋外で過ごしたり、久しぶりに暑い環境で活動する場合は熱中症になりやすいので注意が必要です。暑さに徐々に慣れる工夫が必要です。
- 日頃から運動で汗をかく習慣を身に付けて、暑さに備えた体作りをします。
- 疲労や、睡眠不足、肥満、慢性疾患、薬剤服用など個人の条件も考慮が必要です。
- 個人の予防努力に加えて、集団活動の場ではお互いに考慮する必要があります。

患者サービス委員会の活動について

患者サービス委員会では、職員全体のモチベーションを高くする業務改善に取り組み、サービス向上・組織力の向上が実現できるよう、職員の意識改善が図れるような環境作りを目指しています。今回は、シリーズ1回目として、今年度の患者サービス委員会の活動計画を掲載します。

今年度、大きく4つの活動を行います。

① 接遇、勉強会

職員全体の更なる接遇意識を向上させるために、「接遇自己チェックリスト」を年2回実施します。その他に全職員を対象とした接遇勉強会を年1回計画します。

② 草取り、窓ふき、すす払い

草取りは、6月～8月にかけて計3回計画しています。6月18日に1回目の草取りを実施しましたので報告します。その他に11～12月の中旬頃に、窓ふき・すす払いを予定しています。

草取りの様子



当委員会委員長の水内看護部長も参加しました。



皆さん草取りに一生懸命です。

③ 花の植え込み

病院敷地内の環境を整えることを目的とし、当院南側玄関に、6月12日に花の植え込みを実施しました。



南側玄関の花も咲き始めました。

④ 掲示物の管理

「ご自由にどうぞコーナー」や季節に合わせた展示物の掲示を行ない、施設内の環境を整え、患者・家族・来院の皆様への情報発信を行います。

「ご自由にどうぞコーナー」では、外来廊下に栄養課便りを設置しています。夏号は、「食中毒から身を守る手段」についてのテーマです。興味のある方は是非お持ちください。

次回のシリーズでも、活動計画の中から、ピックアップして報告させていただきますのでご期待下さい。

● 講演会の開催

令和元年5月30日に日本赤十字社医療事業推進本部 矢野 真総括副本部長とJA長野厚生連佐久総合病院 伊澤 敏統院長を講師としてお招きし、川西赤十字病院職員対象研修会を開催しました。矢野先生からは「倫理的課題における病院の課題」、伊澤先生からは「若月イズムと佐久病院、佐久の医療状況」と題して、講演を頂きました。今後の病院運営等に活かしていきたいと思っております。



講演会の様子

中学生看護体験

看護部 一般病棟
看護師 武田 美絵

令和元年5月20日・21日の二日間に渡り、職場体験として地元の望月中学生二名をお迎えしました。

中学生職場体験一般病棟の担当をしました武田です。数日前に、療養病棟の担当者と打ち合わせをしてからこの日を迎えました。川西赤十字病院の職場をよく知っていただきたいと思い関わりました。

お二人に尋ねると、他の病院には足を踏み入れたことはあるが、ここ川西赤十字病院に来るのは初めてとのことでした。地元にある病院ではあるけれど、十代の若者にとっては川西赤十字病院の中は「一体どんな場所なんだろう？」とイメージが付きにくいよくわからない場所だったようでした。

しかし、お二人は病院のお仕事に興味を持っており、やる気を感じられました。まずは一般病棟内の紹介をさせていただき、シーツ交換を実際にやってみました。慣れないながらも、教わりながら真剣にやってくれました。次にお互いの血圧測定をしたり、お腹の音を聴いてみました。初めての聴診は驚きを隠せない様子でした。それから、お話のできる患者様のベッドサイドに行き、お話をさせていただきました。その際に印象的だったことがあります。普段、我々看護師に対する言動とは異なる様子で中学生に話しをしてくれた患者様が多かったのです。ある男性患者様は「病氣してしまえば人生暗くなってしまう。だから健康第一だ！」と力説されていました。それを中学生のお二人は素直に聞いていました。望月小唄を披露してくださった患者様もおられました。中学生たちを孫のように感じたのでしょうか。お二人は手拍子して聞いており、患者様は嬉しかったのか繰り返し何度も歌っていただきました。

昼食と休憩を終えて、午後は他部署見学です。それぞれの部署ではここでしか聞けない中学生のお二人が引き込まれるようなお話しをしていただき大変感謝しております。中学生たちも生き生きと話しを聞いていました。「どんな学校に行けば検査技師になれるのか」等質問があり、医療職に興味を持ったようでした。私個人的に良い体験だったのはリハビリの水治療室にある手を口でコーティングし温める療法です。ぽかぽかと心地よかったです。また、次回も他部署見学があるはずなので楽しみにしております。

お二人にはこの職場体験を通して医療や介護、病院に携わる仕事に興味を持ってほしいと思います。

◆◆総合ビルメンテナンス◆◆

 株式会社 **BISO**

本社／〒399-4432 長野県伊那市東春近549-3
TEL.0265-76-6100(代) FAX.0265-76-2340

営業所／諏訪・茅野 飯田 松本 長野

元気な毎日を応援します

もちづき薬局

佐久市望月343-1
川西赤十字病院前
Tel:0267-53-8110
Fax:0267-53-8111



●川西保健衛生施設組合議会議員等の視察研修●

令和元年7月25日に川西赤十字病院の視察研修が当院及び佐久市望月総合支援センターにおいて開催され、川西保健衛生施設組合議会議員及び監査委員、関係市町の担当者等21名が参加されました。

今回の視察研修は同組合事務局が計画されたもので、当院の経営状況及び施設等の状況について、同組合議会議員及び関係者の皆様に理解を深めて頂く良い機会となりました。

なお、平成30年度から5年間、同組合より補助金（1億6百万円）の支援を頂くことになっております。



川西保健衛生施設組合議会議員等との視察研修の様子



病院内の視察の様子

外来医師担当表

★第2、第4土曜日は休診日です

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | ★土 |
|----------------------------|-------------------|----------------|------------------------|---------------|-------------------------------|-----------------------|--------------------------|
| 内科 (循環器科) | 午前 8:30~11:30 | 田村 泰夫 稗田 宏子 | 米倉 宏明 稗田 宏子 | 田村 泰夫 日赤派遣 | 米倉 宏明 信州大学 (9:00~11:30) | 大和 眞史 日赤派遣 | 第1 稗田 第3 交替制 第5 休診 |
| | 午後 14:30~16:00 | | | 米倉 宏明 | | | |
| 外科 (消化器科) | 午前 9:00~11:30 | 清水 公男 | 清水 公男 第3週休診 | 休 診 | 検 査 | 佐久総合 (月1回) | 検 査 |
| 整形外科 (リウマチ科) (リハビリ科) | 午前 8:30~11:30 | 大内 悦雄 | こもろ 医療センター 9:00~ | 大内 悦雄 | 塩澤 律 9:30~ | 大内 悦雄 | 信州大学 第1・3・5週 9:00~ |
| 眼科 | 午前 9:00~11:30 | | | | | | 長野日赤 第1・3・5週 |
| 泌尿器科 | 午後 14:00~16:00 | | 毎月第1金曜日のみです | | | 佐久医療 センター ★予約制★ | |

■受付時間（全科） 午前7:00~11:30（初診患者受付は8:30より開始）

■水曜日内科午後診は14:30~16:00まで

■曜日により診療開始時間が下記の時間帯になります。

・整形外科（火・第1・第3・第5土曜日）9:00~（木曜日）9:30~

・眼 科（第1・第3・第5土曜日）9:00~

・泌尿器科（毎月第1金曜日）14:00~

★毎月1回、子宮頸がん検診を実施しています。

ご希望の方は当院医事課までお問い合わせください。

※担当医師は、曜日によって他の医師へ代診となることがあります。

その場合は、院内に掲示いたします。